

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年09月30日

計画の名称	福井県における重要インフラの緊急点検結果を踏まえた下水道に関する緊急対策（テクノポート福井）（防災・安全）													
計画の期間	平成31年度～平成31年度（1年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	福井県													
計画の目標	地震時の機能停止リスク低減策が必要な下水道施設において、対策を概ね完了する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		72	A	72	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	地震時の最低限の処理機能を確保する対策を処理場で実施する。 地震時の最低限の処理機能を確保する対策を実施する処理場数（1施設）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	改築	テクノポート福井浄化セ ンター	耐震化対策	坂井市						72	-	
											小計						72		
											合計						72		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 福井県において評価を実施	事後評価の実施時期 事業完了後
	公表の方法 福井県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	場内の沈砂池の耐震化を完了させた。 R 1 未までに地震時の最低限の処理機能を確保できたことで、公共用水域の水質保全に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
ストックマネジメント計画に基づき、今後も計画的かつ効率的に設備の改築更新を進め、安定した下水道事業の運営に努めていく。 また、放流渠や場内管理棟等の耐震化についても今後、実施していく予定である。	



# 参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	1 福井県における重要インフラの緊急点検結果を踏まえた下水道に関する緊急対策（テクノポート福井）（防災・安全）		
計画の期間	平成31年度 ～ 平成31年度（1年間）	交付対象	福井県

